

リスク見積りと評価

● 留意事項

- 洗い出された危険要因に対して、リスクの見積り・評価を行いましょう。
- ・リスクの見積り・評価は、複数の人で実施しましょう。
- ・細かく見積もらないで大まかに見積りましょう。
- ・リスクの見積りにあたっては、具体的な災害の起こる可能性とケガの程度を想定してみましょう。
- ・リスクの見積りは、作業内容をよく考えて、十分話し合い、グループの総意として決めましょう。
- ・そのリスクの大きさを明らかにしましょう。

リスク低減対策

● 留意事項

リスク低減対策の検討を行う場合は、リスクの高いものから優先的に検討を行いましょう。

- ・リスク対応は、どのようにしてリスクを小さくするかを考えましょう。
- ・リスク対応は、リスクゼロを目指すのではなく、リスクを許容できる水準より低いところまで引き下げましょう。
- ・リスク低減対策の検討は、次の順序でリスクをどのようにして小さくするかを検討しましょう。
 - ① 先ず危険作業をなくしたり、見直したりしてリスクを小さくすることを検討しましょう。
 - ② 次に、何か機械や設備などで対策がとれないか検討しましょう。
 - ③ 3番目に、防護ズボンなど個人用保護具の使用を検討しましょう。
 - ④ 4番目に、教育訓練、作業管理等の対策を検討しましょう。
- ・コストの多少でなく妥当なリスク対応を検討しましょう。
- ・対策後のリスクの見積り・評価を再度行い、許容可能かどうか確認しましょう。

改善にあたり考慮すべき事項

● 留意事項

- ・対策後のリスクレベルが確保されるよう、具体的な方法を検討しましょう。
- ・具体的な実施にあたっては、ないものねだりをせず、一步一步前進していくように優先順位を付けて実施しましょう。
- ・アセスメントの実施結果を作業員全員に周知し、事業者と作業員が一緒になって取り組みましょう。